

2013 年度事業報告

特定非営利活動法人 きらめき未来塾

I. 事業期間

2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日

II. 事業の成果

2013 年 8 月 19 日から同年 8 月 23 日にかけて兵庫県洲本市にて「きらめき未来塾 2013」を開催した。大阪、兵庫、京都、東京、神奈川、千葉、宮城、岡山、広島、福岡から 45 高等学校 67 名の高校生が参加した。

III. 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) きらめき未来塾 2013 の開塾

(内 容) 事業成果に記載の通り

(実施場所) 兵庫県洲本市五色町都志 1087 ウェルネスパーク五色 浜千鳥

(実施日時) 2013 年 8 月 19 日から同年 8 月 23 日

(事業の対象者) 1 都 2 府 7 県の高校生 67 名

(2) (事業名) きらめき未来塾 2013 フォローアップ研修

(内 容) きらめき未来塾 2013 年の卒塾生を主な対象とし、基本理念のうち「世界中の仲間とコミュニケーションができる心広き人」をテーマにした研修を、次の通りを実施した。

(開催日) 2013 年 12 月 1 日 (日)

(実施場所) 大阪市淀川区西中島 5-14-10 ニューオーサカホテル

(参加者数) 46 人

(3) (事業名) きらめき未来塾第二回同窓会

(内 容) 各年度の卒塾生、サポーター、理事等、未来塾関係者相互の交流の場として意見交換、人的ネットワーク構築を行うことによって、参加者が新たな目標を見出すことを目的として開催した。

(開催日) 2013 年 12 月 1 日 (日)

(実施場所) 大阪市淀川区西中島 5-14-10 ニューオーサカホテル

(参加者数) 68 人

(収 入) 13,431,775 円

(支 出) 13,172,339 円

(4) (事業名) きらめき未来塾 2014 開催準備

(内 容) 2013 年第 3 回理事会にて「きらめき未来塾 2014」の会場を 2013 年と同一場所である兵庫県洲本市所在のウェルネスパーク五色に決定した。

IV. 総会の開催状況

1. 2013年度通常総会

(日 時) 2013年3月8日(金) 17時から18時まで

(場 所) 大阪市北区東天満1丁目12-13 当NPO4階会議室

(会員総数) 94名

(出席者数) 70名(内書面表決者 59名)

(内 容)

第1号議案 議事録署名人に、吉澤 健理事、山幡一雄理事が選出された。

第2号議案 2012年度事業報告並びに収支計算書が承認可決された。

第3号議案 2013年度事業計画(案)並びに活動予算書(案)が承認可決された。

第4号議案 任期満了に伴う監事選任につき、浮氣利廣氏が選任された。

V. 理事会の開催状況

1. 2013年第1回理事会

(日 時) 2013年2月5日(火) 13時30分から15時まで

(場 所) 大阪市北区東天満1丁目12-13

特定非営利活動法人きらめき未来塾 4階会議室

(理事総数) 13名

(出席理事) 13名(内書面表決者 4名)

(監事総数) 1名

(出席監事) 1名

(内 容)

第1号議案 議事録署名人に、吉澤 健理事、山幡一雄理事が選出された。

第2号議案

理事長選任、理事役職について、原案を協議の結果、次のとおり選任された。

理事長	齋藤 洋一	理事
副理事長	水野 彌一	理事
名誉塾長	大竹 美喜	理事
発起人代表	大石 正守	理事
塾長	吉澤 健	理事
塾長補佐	前田 嘉昭	理事

また、理事長により、事務局長には西澤良臣理事が選任された。

理事の役割分担について、協議した結果、次の通り決定した。

1. 総務担当(役員選出を含む) 齋藤理事長、大竹理事、大石理事
2. 企画担当(カリキュラム策定含む) 吉澤理事、水野理事、前田理事
3. 財務担当 山田理事、浮氣監事
4. 運営担当 柳本理事、山幡理事、鈴木理事
5. 広報担当 片岡理事、若原理事
6. 庶務担当(事務局含む) 西澤理事

また、理事長から6名の特別顧問を推薦するとの提言があり、協議の結果、次の方々に特別顧問就任を依頼することとした。

濱本 英輔 (現任) 野田 智義 (現任) 瀧川 好美 (新任)
坪井 一字 (現任) 松岡 大藏 (現任) 木下 紘一 (新任)

第3号議案 2012年度事業報告案並びに2012年度収支決算案が承認可決された。

第4号議案 2013年度事業報告案並びに2013年度収支決算案が承認可決された。

第5号議案

事務局長 西澤良臣氏より、実施概要について説明があり、各役員1組編成して、参加されるよう要請があった。

ゴルフをプレーしない片岡理事から、ゴルフ大会当日の表彰式席上にて、アカペラで数曲を披露する旨、提案があったので、実行して戴くこととなった。

第6号議案

2012年～2013年の全3回のカリキュラム委員会で作成した講師候補リスト、タイムスケジュール案を協議した結果、次の方々に講師を依頼することが承認された。

- | | | |
|----------|--------------|--------------------------|
| 8/19 (月) | 前田嘉昭理事 | (研修会場までの車中におけるアイスブレイキング) |
| | 大竹美喜理事 | (当 NPO 法人の理念、名誉塾長講話) |
| | 織田善行氏 | (未来を築くためのアフタメーション) |
| 8/20 (火) | 田中英成氏 | (企業と文化の関わり) |
| | 高杉栄一氏 | (物理学) |
| | SHEA・DAVID 氏 | (英語能力の重要性を具体的に認識するための講義) |
| | 辰野 勇氏 | (冒険とチャレンジ) |
| 8/21 (水) | 森山明宏氏 | (医学) |
| | 黒岩祐治氏 | (メディア、コミュニケーション) |
| | 鈴木 寛氏 | (検討中) |
| | 片岡真希理事 | (音楽、ヨーロッパ・ドイツの文化) |
| | 朝原宣治氏 | (スポーツを通じての人格形成) |
| 8/22(木) | 三木文夫氏 | (中国事情) |
| | 水野彌一副理事長 | (日本の歴史に学ぶ) |

第7号議案 その他

下記の通り理事各位から意見があった。

水野彌一副理事長

未来塾の意義を考えれば、集まった高校生だけではなく、地域社会の方々にも、これからの「人のあり方」を示していくことが必要と考えます。そのためには、メディアと連携していくことも大切です。大竹理事は、色々な場面で活躍をしておられる、そのポテンシャルを生かしていくべきと思います。

片岡真希理事

塾生の親御さん方の反応はどうなのでしょう。息子さんや、娘さんが参加したことについて関心が希薄に感じられます。これからは、親世代の教育を行い、家族ぐるみで協力していくことが必要と考えます。

齋藤洋一理事長

私は、これからの若い人にとっては、親からの自立を促すことが大切だと思います。

水野彌一副理事長

私も齋藤理事長の意見に賛成です。親御さんに、自分の子供は塾に参加することによってどのように変化をしたか、アンケート等で感想を聞くことはいいと思いますが、まきこむことはしない方がいいと思います。

親の理解は必要ですが、意見は聞いてはいけない。今の親は子にベッタリで過保護過ぎる。

協議の結果、大竹理事の人脈を活用していくため、水野副理事長と大竹理事が協議することとなった。

卒塾後の塾生の親に対しては、関心を高めるためのアンケート調査等の実施方法を事務局で検討することとなった。

また、以下の事項について意見があった。

- ・パンフレットは、3月 理事長の洲本市訪問時までには作成する。
- ・会員向けのイベントの実施の検討

2. 2013年度第2回理事会

(日 時) 2013年3月8日(金) 16時から17時まで

(場 所) 大阪市北区東天満1丁目12-13 当NPO4階会議室

(理事総数) 13名

(出席理事) 13名 (内書面表決者 4名)

(監事総数) 1名

(出席監事) 1名

(内 容)

第1号議案 議事録署名人に、吉澤 健理事、山幡一雄理事が選出された。

第2号議案

理事 西澤良臣氏が2013年事業計画(案)、2013年活動計算書の補正について、説明を行った。

2013年事業計画(案)の夏期合宿研修「きらめき未来塾2013」について、カリキュラム委員会で選定された講師の方々からは、ほとんどの方から口頭で承諾の旨の返事をいただいている、予定していたスケジュール通り開催できるとの報告があった。

2013年活動計算書については、前回の案では、予備費が管理費になっていたが、合宿研修における予備費であるため、事業費に計上することとする補正がされた旨が説明され、全員異議なくこれを承認した。

第3号議案

議長の指名により、理事 西澤良臣氏が運営資金調達活動について、下記のとおり、説明を行い、全員異議なくこれを承認した。

- 1) 2012年度寄附者への依頼
- 2) 2013年度新規依頼先の開拓
 - ①大阪事務局
 - ・2013年度新規依頼先
 - ・洲本商工会議所加盟 1230社 メールマガジン発信(交渉中)
 - ②東京事務局
 - ・大竹名誉塾長に依頼中
 - ③広島事務局
 - ・広島事務局 R C C文化センター 神田役員に依頼中
- 4) 当NPO役員、特別顧問に依頼先紹介のお願い 各自10件(個人、法人)
- 5) 当NPOホームページ及び寄附サイト Just Giving Japan の活用

第4号議案

理事 西澤良臣氏がきらめき未来塾2013ゴルフ大会の参加者募集状況について以下の通り報告を行い、あらためてきらめき未来塾2013ゴルフ大会開催を諮ったところ、全員異議なく承認した。

実行委員の大石理事、鈴木理事、若原理事、山幡理事、オブザーバーの竹岡氏のご尽力で、現在85名程の参加申し込みをいただいている。

鈴木理事が、3月15、16日に、仕事でよみうりカントリークラブに行く際、再度参加の呼びかけをして下さる予定になっている。よみうりカントリークラブにも積極的に協力していただいている。

第5号議案 その他

- 1) 西澤事務局長より認定NPOの審査基準について説明があり、実績判定期間内の収入額における事業費の割合について、現在、基準を満たしているとの報告があった。
- 2) 西澤事務局長より、カリキュラム委員会の中で意見があった夏期合宿研修等の講師の謝礼について、次の規程を定めることを諮ったところ、全員異議なく承認した。

講師謝礼規程（内規）

当NPOの役員が講師等を務める場合の謝礼は、外部の講師に支払う謝礼金以下とする。

また、以下の意見を受けて、事務局にて旅費規程案を作成し、理事に諮ることとなった。

- ・NPOは透明性が重視されるので、規程として定めておいた方が良い。
他のNPOはどのようにしているかを参考にして作成すること。
- ・作成するにあたって、夏期合宿研修等の事業費に含まれる時と、理事会等の管理費に含まれる場合を分けた方がいい。

これらの意見を受けて、事務局にて旅費規程案を作成し、理事に諮ることとなった。

- 3) 山幡理事より、予算には人件費がまったく書かれていない。今は協賛企業からの出向に頼っているが、本来は自分達でどのように人件費を負担していくか、考えなければならない。また、サポーターや卒塾生にボランティアで事務局を手伝ってもらうような取組みを行っていくべきとの意見があった。
- 4) 齋藤理事長より、本年2月27日 洲本市の淡路信用金庫理事長 瀧川好美氏を訪問し、当NPOの特別顧問就任を依頼し、承認を戴いた。また、3月12日に洲本商工会議所会頭 木下紘一氏を訪問し、特別顧問就任を要請する旨の発言があり、理事全員がこれに賛同した。

3. 2013年度第3回理事会

(日 時) 2013年9月26日(木) 16時から18時まで

(場 所) 大阪市北区東天満1丁目12-13 当NPO4階会議室

(理事総数) 13名

(出席理事) 12名

(監事総数) 1名

(出席監事) 1名

(内 容)

第1号議案 議事録署名人に、若原康正理事、山幡一雄理事が選出された。

第2号議案 役員人事の件

原案を協議の結果、次の方々が選任された。

発起人代表	大石 正守	氏	
〃	吉澤 健	氏	
名誉理事長	齋藤 洋一	氏	(就任予定日 2014年1月1日)
名誉塾長	大竹 美喜	氏	〃
理事長	水野 彌一	氏	〃
塾長	片岡 真希	氏	〃
塾長補佐	前田 嘉昭	氏	〃

新理事就任（就任予日 2013年9月26日）

松浦 三郎 氏 一般社団法人学習評価研究所 代表

理事の役割分担として、協議の結果、次の通り可決された。

総務担当理事 齋藤洋一、水野彌一、大竹美喜、大石正守
 企画担当理事 水野彌一、吉澤健、前田嘉昭、片岡真希、松浦三郎
 財務担当理事 山田茂善、浮氣利廣
 運営担当理事 若原康正、鈴木規夫、山幡一雄
 広報担当理事 下垣真希、若原康正
 庶務担当理事 山幡一雄、西澤良臣

第3号議案 きらめき未来塾 2014 活動指針について

理事 西澤良臣氏から、2014 年度に 10 回目を迎える、きらめき未来塾の活動内容として、次の 2 案がだされた。議長が、下記 2 案と、大竹理事の話を参考に、今後の活動方針について理事各位に意見を求めたところ、B 案をベースに内容を企画担当役員で検討し、次回理事会に提議することとした。

		A プラン	B プラン
1	目 的	グローバル人材の育成	同左 ※ 2015 年度に A プラン実行の為の準備に要する事項を入れて行う
2	対 象 塾 生	日本人高校生 } 日本国内留学生 } 約 25 名	日本人高校生 } 約 30 名 日本国内留学生 } 計 60 名程度
3	会 場	立命館アジア太平洋大学施設 他	ウェルネスパーク五色
4	期 間	2014 年 8 月 4 日(月)～同 8 月 30 日(金) 4 週間	2014 年 8 月 18 日(月)～同 8 月 22 日(金) 4 泊 5 日
5	講 師 カリキュラム	16 名程度（日本人、他国人、半々）	8 名程度（同左）
6	施設外研修	研修期間内（5 日間～7 日間実施）	最終日実施
7	事務局要員 サポーター要員	上記 1～6 を確認の上、作成する	常勤：1 名 週 2 日：2 名 テンポラリー 7 名、期間中：12 名
8	事 業 費		2013 年実績をベースとする
9	課 題	詳細は、添付「7/18/2013 付 きらめき未来塾 2014 年度活動指針案に関する課題」の通り	左記に準ずる

第 4 号議案 きらめき未来塾 2014 年度開催地、会場について

上記 B プランを基にして行うため、期間は 2014 年 8 月 18 日(月)～同 8 月 22 日（金）4 泊 5 日、会場はウェルネスパーク五色にて行うことを諮ったところ、今年度を参照に会場、時期とも問題がないため、可決された。

また、募集人数や参加対象者については、本年度中に企画委員会を行い、素案をまとめ次の理事会にて諮ることとなった。

第5号議案 きらめき未来塾 開塾10回目を迎えて

理事 西澤良臣氏から、2014年度に10回目を迎える、きらめき未来塾の記念式典として、次の案が出された。

A案

会場：広島市内 時期：未来塾開塾の1～2週間前に設定

B案

会場：きらめき未来塾2014入塾式会場 時期：同上開催日

A案・B案共通

内容について

1. 沿革資料作成：9年分のカリキュラム、講師、後援、協賛、参加者
2. 来賓挨拶、祝辞、祝電、手紙
3. 主催者スピーチ：大竹名誉塾長、大石発起人代表、水野副理事長
4. きらめき未来塾2014パンフ：カリキュラム+寄附依頼用紙一式
5. 出席者：理事、特別顧問（自費）、事務局メンバー（NPO負担）

議長が意見を求めたところ、準備・運営などを考慮し、B案にて実施されることが可決された。

第6号議案 その他

きらめき未来塾2014ゴルフ大会について、鈴木理事から以下の通り話があった。昨年、理事各位に協力していただき、150万円程の寄附金が集まり、成功裡に行うことができました。また、ゴルフ場にも大変協力をしていただきました。次年度については、ゴルフ場から提案があり、4月の2週目の9日（水）か10日（木）の日程で、110名参加者を募りたいと考えております。私が音頭をとりませんが、活動拠点が関西ではないので、理事皆様のご協力をお願いいたします。

4. 2013年度第4回理事会

（日 時）2013年12月28日（土）14時から16時まで

（場 所）大阪市北区東天満1丁目12-13 当NPO4階会議室

（理事総数）13名

（出席理事）13名（うち書面表決者2名）

（監事総数）1名

（出席監事）1名

第1号議案 議事録署名人に、若原康正理事、山幡一雄理事が選出された。

第2号議案 理事選任、理事役職、並びに役割分担の件

大石理事から、新理事として山田庸男氏を推薦する旨、発言があり総務担当役員を含む全理事から同意があり、山田庸男氏から理事就任の承諾がなされ、理事に選任された。

齋藤理事長から、本年12月31日をもって、代表権のある理事職を退任し、2014年1月1日からは名誉理事長として活動していく旨の発言があり、新理事長の互選を行った結果、理事全員の同意を得て、副理事長 水野彌一氏が2014年1月1日付で代表権のある理事長就任を承諾する旨、意志表示がなされた。又、各役員の役割は次の通り確認、承諾された。

水野副理事長から、松浦理事に東京事務局長に就いて戴く旨の推薦があり、理事全員の同意を得たので松浦理事は東京事務局長就任を承諾した。

2014 年度役員役職は以下の通り

理事長	水野彌一
名誉理事長	齋藤洋一
名誉塾長	大竹美喜
発起人代表	大石正守、吉澤 健
塾長	片岡真希
塾長補佐	前田嘉昭

特別顧問	瀧川好美、木下紘一、坪井一字 濱本英輔、野田智義、松岡大藏
------	----------------------------------

役員役割分担

1. 総務担当（役員選出を含む）
齋藤名誉理事長、水野理事長、大竹理事、大石理事、山田庸男理事
2. 企画担当（カリキュラム策定含む）
水野理事長、吉澤理事、前田理事、片岡理事、松浦理事
3. 財務担当 山田茂善理事、浮氣監事
4. 運営担当 山幡理事、鈴木理事、若原理事
5. 広報担当 片岡理事（兼任）、若原理事（兼任）
6. 庶務担当（事務局含む）
西澤理事、山幡理事（兼任）、松浦理事（東京事務局長）（兼任）

第 3 号議案 2013 年度事業報告（案）並びに 2013 年度活動計算書（案）が承認可決された。

第 4 号議案 2014 年度事業計画（案）の件

下記の事項を基本とし、企画委員会にて詳細を決定することとなった。

- 1) カリキュラム・講師案について
 - ・下垣塾長の「多文化共生論」をカリキュラムに加える。
 - ・野外研修の枠として「茶道」を加える。
→ 洲本市に協力を仰ぎ、地元のクラブや茶道家に協力をお願いする。
- 2) 塾生募集について
 - ・塾生のレベルアップをはかるため、募集方法についての検討を加える。
 - ・参加条件に「日本人学生、留学生共、合宿で共同生活を送るのに必要な語学力を要すること」という文言をつけ加える。
 - ・数次に分けて募集を行う。
- 3) 継続研修について
 - ・フォローアップセミナーを発展させ、秋冬春の可能な期間に京都大学等の施設を活用し、研修を活用し研修を継続する、また夏期研修の一部を連続講座とする。
 - ・交通費については自己負担とする。
 - ・OB 参加可とする
- 4) 2014 ゴルフ大会について協議した結果、原案に基づき、各方面に依頼をすることが承認された。

第5号議案 2014年度活動計算書(案)が承認可決された。

第6号議案 2013年度定時総会開催日程が以下の通りとなった。

日 時 2014年2月8日(土) 午後2時～

場 所 大阪市北区東天満1丁目12番13号

特定非営利活動法人きらめき未来塾 4階 会議室

VI. 企画委員会

1. 2013年度第1回企画委員会

(日 時) 2013年11月11日(月) 14時から16時まで

(場 所) 大阪市北区東天満1-12-13 当NPO 4階会議室

(出席者) 水野理事、吉澤理事、前田理事、片岡理事、松浦理事、西澤理事
事務局 舟尾次長

(内 容)

きらめき未来塾2014のカリキュラム、講師の選定及び塾生募集について、次の通り協議した。

1) 塾生募集について

①教育委員会ルート以外の塾生募集を検討

- ・学校をしぼり、ピンポイント募集
- ・日本私立中学高等学校連合会に協力をお願いする

②留学生と日本人高校生の募集の比率の検討

2) カリキュラム、講師選定について

きらめき未来塾 2014 講師候補

氏 名	テーマ	略 歴 等
大竹 美喜 氏	名誉塾長講話(入塾式)	名誉塾長
下垣 真希 氏	塾長講話(卒塾式)	塾長
織田 善行 氏	アフターメーション (夢・目標の明確化)	アドベンチャーコーチング株式会社 代表取締役
カール ベッガー 氏	倫理・死生観	京都大学大学院人間・環境学研究科教授(共生人間学・人間社会論・社会行動論) 諸文化の宗教(死生観・倫理観)を理解し、治療方法、倫理道徳、価値体系等の研究を通じて、日本独自の新しい対応方法の可能性を探求している。 最近では、医療倫理学、バイオエシックス(環境倫理学を含む生命倫理学)の問題を中心に研究を進めています。西洋医学の終末期治療等に対し、東洋思想の立場から「離脱体験」研究を行い、全米宗教心理学からアシュビー賞を、1986年に国際教育研究会(SIETAR)から異文化理解賞を、1992年にボンベイ国際大学

		から名誉博士号を授与される。 「日本的」な医療倫理と教育実践を目指し、生きがい感と自殺防止の関わり、患者中心のインフォームド・コンセント、ホスピス、ターミナル・ケア等の研究に取り組む。
小坂 文乃 氏	日本近代史	日比谷松本楼副社長 1968 年生まれ。中学・高校時代を英国で過ごす。立教大学社会学部観光学科卒業後、英国系のウォーターフォード・ウェッジウッド・ジャパンに入社しマーケティング部に所属。 1995 年に松本楼に入社、現在は常務取締役企画室長。 孫文を生涯にわたって支援した梅屋庄吉のひ孫に当たり、今年の辛亥革命 100 周年にちなみ昨年来、孫文と梅屋庄吉の絆に光を当てるとともに日中親善の活動にも取り組んでいる。 2008 年に胡锦涛国家主席が来日し、松本楼を訪問した際には胡主席と福田康夫首相に孫文と梅屋庄吉の史料説明を行う。2010 年には上海万博会場や北京で孫文と梅屋庄吉展を実施。
柳沢 幸雄 氏	環境科学	1971 年 東京大学 工学部化学工学科卒。日本ユニバック（株）を経て、1981 年東京大学工学部化学工学科助手。1984 年ハーバード大学へ渡る。シックハウス症候群、化学物質過敏症の世界的第一人者として知られ、1986 年～2002 年公衆衛生大学院専任准教授・併任教授。この間数度ベストティーチャーに選出される。1997 年～2012 年東京大学大学院客員・専任・特任教授。2011 年 4 月に母校・開成学園校長に就任。ハーバード大学ではベストティーチャーに数回選ばれ、教育に熱心である。
吉川 榮治 氏	東アジアの中国、韓国、北朝鮮など国防に対する知識及び現状	海上自衛官。第 28 代海上幕僚長。 1999 年（平成 11 年）3 月 23 日に発生した能登半島沖不審船事件では海上自衛隊創設以来初となる海上警備行動が発令され、第 3 護衛隊群司令として現場の指揮を執った。 海上幕僚長退任直前の 2008 年 3 月 21 日付けで、イージス艦情報漏洩事件、イージス艦衝突事故及び護衛艦「しらね」の火災事故の三件に関して懲戒処分を受け、24 日付で退職した。海上幕僚長離任に際しては、栄誉礼を辞退。 後任の赤星慶治を含む幹部や石破茂防衛相が互いに帽子を振って別れる「帽振れ」の挨拶で吉川を見送った。
黒岩 祐治 氏	コミュニケーション・チャレンジを成遂げる	神奈川県知事（昨年に引き続き依頼）
鈴木 寛 氏	卒近代による日本のグローバル化	元衆議院議員（昨年に引き続き依頼）

<p>澁澤 健 氏</p>	<p>論語と算盤、 日本再起動</p>	<p>(公財)日本国際交流センター理事長 テキサス大学化学工学部卒業。1984年に(財)日本国際交流センター入職、1987年にUCLA大学経営大学院にてMBAを取得し、JPモルガン、ゴールドマン・サックスなど米系金融機関、大手ヘッジファンドのムーア・キャピタル・マネジメントを経て、2001年シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業。2007年コモンズ株式会社(現コモンズ投信)を創業し、2008年会長に就任、現在に至る。2010年より日本国際交流センター評議員、2012年3月理事、5月に理事長に就任。「日本資本主義の父」と言われる渋沢栄一の5代目の孫にあたり、「論語と算盤」の提唱を現代に問いかけ、21世紀における資本主義や社会の持続性、経済活動と公益活動を両輪とする民間の力の重要性などを説く講演・執筆活動に従事する。2004年より経済同友会幹事、また、渋沢栄一記念財団理事など多くの非営利組織の理事・評議員を務める。</p>
---------------	-------------------------	---

2. 企画委員会の活動

2013年第1回企画委員会後、事務局を經由し次の活動を行った。

- ① 2013年11月22日に事務局から各委員に11月11日の企画役員会のメモランダムの加筆補正を11月29日までに事務局宛、回答する様依頼した。
- ② 2013年12月1日に上記①の加筆、補正を反映した文書「きらめき未来塾2014」開塾の件を、企画委員に送付し、内容の確認を委員相互で行った。
- ③ 2013年12月15日に企画委員宛、講師の確定、未定状況の報告を行い、講師候補のリストアップを企画委員相互で行うこととした。
- ④ 2013年12月19日に企画委員 水野副理事長、同 松浦理事から「きらめき未来塾」開塾の件に関し、提案書が全役員に提出され、本年12月28日の第4回理事会で協議、決定することとした。
- ⑤ 2013年12月28日の第4回理事会にて、上記④が討議された結果、2014年1月末日を目途に、企画委員会にて最終案を作成することが一任された。

VI. 運営委員会

1. 2013年度第1回運営委員会

(日 時) 2013年12月28日(土) 13時から13時50分まで

(場 所) 大阪市北区東天満1-12-13 当NPO5階役員室

(出席者) 若原理事、山幡理事、鈴木理事

事務局 西澤事務局長、舟尾次長

(内 容)

「きらめき未来塾 2014」ゴルフ大会の実施概要につき、次の通り協議した。

- ① 実施日 2014年4月10日(木)
- ② 場 所 よみうりカントリークラブ
- ③ 趣 旨 「認定NPOきらめき未来塾」への寄附
- ④ 競技方法 ◎18ホールストロークプレー
パー3のショートホールでワンオンできなかった場合1,000円
を
ご寄附いただきます。
◎ドラコン賞、ニアピン賞を設ける
- ⑤ 参加費等 29,000円(寄附金20,000円、参加費9,000円)
- ⑥ 予定人数 120名
- ⑦ 発起人 前回と同一の方々とする。
- ⑧ 後援名義 同上
- ⑨ 協賛名義 同上
- ⑩ 以上の内容を同日開催の第4回理事会に運営委員案として提議する。
この際、上記⑧後援名義と⑨協賛名義の拡充を理事各位に要請することとした。
- ⑪ 運営協力を前回同様 キヌガワプランニングオフィス社に依頼する。

2013年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

特定非営利活動法人 きらめき未来塾

2013年 1月1日から 2013年 12月31日まで

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 経常収益				
1 受取会費	635,000	1,389,000	754,000	
2 OB会会費	200,000	0	-200,000	
3 受取寄附金	12,300,000	11,746,000	-554,000	
4 協賛金	0	300,000	300,000	
5 雑収入	0	1,775	1,775	
経常収益 計	13,135,000	13,436,775	301,775	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
臨時雇賃金	240,000	271,000		
福利厚生費	100,000	0		
人件費 計	340,000	271,000		
(2) その他経費				
宿泊研修費	8,090,000	5,465,013		
青少年健全育成事業	200,000	109,834		
OB会	650,000	400,000		
事務用品費		37,074		
旅費交通費		434,745		
通信費		117,311		
支払手数料		1,303,130		
交際費		72,185		
保険料		92,611		
租税公課		115		
支払報酬		1,347,111		
運賃		2,640		
新聞図書費		31,105		
消耗品費		583,753		
会議費		166,268		
雑費		8,435		
予備費	200,000	0		
その他経費 計	9,140,000	10,171,330		
事業費 計	9,480,000	10,442,330	962,330	
2 管理費				
(1) 人件費				
福利厚生費	23,000	2,980		
人件費 計	23,000	2,980		
(2) その他経費				
消耗品費	100,000	167,708		
事務用品費	350,000	229,941		
地代家賃	1,200,000	1,040,000		
保険料	7,000	6,740		
租税公課	16,000	1,430		
旅費交通費	157,000	305,235		
通信費	220,000	136,612		
水道光熱費	270,000	270,870		
支払手数料	21,000	18,877		
支払報酬	105,000	42,000		
運賃	210,000	122,698		
広告宣伝費	300,000	305,550		
交際費	40,000	49,413		
諸会費	12,000	0		
会議費	540,000	30,994		
雑費	15,000	3,251		
その他経費 計	3,563,000	2,731,319		
管理費 計	3,586,000	2,734,299	-851,701	
経常費用 計	13,066,000	13,176,629	110,629	
当期経常増減額	69,000	260,146		
税引前当期正味財産増減額	69,000	260,146		
前期繰越正味財産額	927,255	927,255		
次期繰越正味財産額	996,255	1,187,401	191,146	